

専門家が継続指導したことで、法人化を実現

法人化

雇用・労務

販路拡大・販促

経営概要

株式会社佐曽利園芸組合

◆代表者・所在地

小西 昌治 兵庫県宝塚市

◆設立

令和4年8月

◆経営規模

露地花き 360a（うち花摘み園60a）、直売所 120㎡
さつまいも掘り取り園 20a、枝豆収穫体験農場 20a

◆従業員数

パート・アルバイト15名

◆事業内容

グリア球根・切花等の共同生産・販売や
花摘み園の運営に取り組む。



代表の小西氏

1 現状と相談までの経緯

宝塚市北部・上佐曽利地区は、全国のグリア球根の4割以上をシェアする生産地であり、昭和10年には「佐曽利園芸組合」が設立され、地区全体でグリアの栽培に取り組むようになった。その後、生産者は減少したが、この10年間に於いて生産額を伸ばしてきた。

令和4年3月の総会で現在も球根出荷を行っている組合員だけの法人化を決定したが、法人化した際の社会保険や就業規則や労務等について不明であったため、普及指導センターから当事業の活用を勧められた。

2 相談内容

組織は任意組合として、長年、活動しており、新設する施設及び土地の登記の問題について相談したい。

融資枠が大きくなるため、法人化を検討しており、社会保険や就業規則等労務関係について助言を受けたい。

また、法人を設立・運営する上で必要なことを知りたい。

3 支援内容

■支援チームによる経営戦略の策定

法人化に向け、経営診断の実施や各種保険関係の説明などの専門家の支援が必要であることから、専門家による経営分析を踏まえ経営戦略会議において法人化に向けた支援チームを編成し、経営戦略を策定した。

■専門家派遣を通じた助言の実施

経営戦略に基づき、普及指導員が中心になり、専門家と調整を実施した。相談者の経営の法人化を図るため、経営コンサルタントや社会保険労務士・中小企業診断士の専門家派遣を通じて、法人化に向けた支援を実施した。

・社会保険制度などの説明 （社会保険労務士）

新法人は代表取締役1名のみで、他の役員・社員はなく、以前までの佐曽利園芸組合または組合員に業務（実作業）を発注する意向であったことから、社会保険や労務災害保険等について説明を行った。

・法人形態等に関する助言（普及員指導員）

法人化について、法人形態や名称等の検討・学習会を開催（3回）するとともに、農業経営改善計画の策定や融資協議の設定について助言を行った。

支援チーム構成員：

社会保険労務士（中小企業診断士の資格を有する）、
経営コンサルタント、普及指導員



専門家が助言を行う様子

■ 支援を受けて・・・

令和4年8月3日に法人化したことで、法人化前から行っていた「花摘み園」への市内小学校の見学受入れでは、受入れ学校数が10校から12校へ増加するなど、取引先への信用も高まった。法人として認定農業者になったことで制度資金が活用できた。

また、農山漁村振興交付金で導入した交流館の土地を法人名義で登記することができた。

■ 今後の経営展開

農山漁村振興交付金で導入した交流館の直売所を活用し、球根の即売会を4月に行ったが、今後は切花をはじめとする農産物の販売も行っていきたい。

「花摘み園」では新たなロゴマークを作成し、ダリアが市花であることの認知度向上と「花摘み園」のブランド力を強化していきたい。

また、従来からキャンドルやドライフラワー等の加工を行って来たが、市内の大学と連携して取り組んでいる球根の機能性を活かした加工品の商品開発もより一層積極的に取り組んでいきたい。



市内小学校の生徒へ説明を行う様子

喜びの声

農業経営・就農支援センターの相談員や専門家に相談したことで、心配だった会社にしたときの社会保障制度への理解が進み、法人化に向けた不安が払拭できました。

派遣していただいた専門家は、個々のケースについて分かりやすく説明してくれたので、役員一同深く理解でき、自信をもって取り組めたように思います。ありがとうございます。現在も六次産業化、情報管理についての専門家派遣を行っていただいております。

専属スタッフ所感

昭和10年に設立された日本一のダリア球根の生産組合が次世代への経営継承を考えて、組合設立88年目に法人化されました。

経営コンサルタントと中小企業診断士や社会保険労務士によるチーム指導で、組合員個々の経営を継続するための法人運営と社会保険加入の方法を説明し、法人化への機運が高まりました。

今後の更なる経営発展を期待しています。

<支援機関> 兵庫県農業経営・就農支援センター



(公社)ひょうご農林機構外観
(兵庫県農業共済会館)

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】

住 所：神戸市中央区下山手通4丁目15-3
兵庫県農業共済会館3階

公益社団法人 ひょうご農林機構

電話番号：078-391-1222

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
9：30～12：00 13：00～17：00

兵庫県農業を担う若者を育成・確保するための総合窓口として設立され、各普及指導センターや関係機関・団体と連携を図りながら、農業の担い手育成、確保に向けたさまざまな支援を行っています。